

平成23年12月20日

柱上変圧器リサイクルセンター  
安全性確認委員会事務局

### 第13回柱上変圧器リサイクルセンター安全性確認委員会議事録

1. 日 時：平成23年12月15日（木）17：00～18：10

2. 場 所：柱上変圧器リサイクルセンター会議室

3. 出席者：

委員（7名出席）

4. 議事

（1）処理実績について

（2）環境モニタリング結果について

（3）その他

a. 津波を想定した各設備のリスク検討

b. 津波訓練について

c. 6ヶ月点検について

d. トピックス：島根原子力発電所の地震津波対策について

5. 内容

（1）処理実績報告

○事務局報告

平成23年11月末までの処理実績累計は、全計画台数約82万台に対し452,274台（約55%）である。

今年度については、11月末計画台数80,065台に対し84,519台（106%）であり、ほぼ計画どおり順調に進捗している。

○主な質疑応答

Q1. 委 員：累計で55%となっているが、平成28年を終了予定として期間的にもほぼ予定どおりなのか、計画をやや上回る実績が続いていけば、早めに完了するのではないか。

A1. 事務局：平成28年までの計画に対して順調に推移している。今後大型変圧器等現在の設備では、処理できないものが出てくるので、平成25年に設備改造工事を予定している。処理台数については、1日当たりの処理重量が決まっているので、大型のものが増えると処理台数は減ることになるので、完了時期はほぼ予定どおりとなる。

平成28年終了までの全体計画については、次回委員会にてお知らせしたい。

（2）環境モニタリング結果報告

○事務局報告

調査項目については、「大気質調査」、「排気調査」、「臭気指数調査」、「特定悪臭物質調査」、「騒音・振動調査」の5項目について実施した。

結果は、全ての調査で、いずれも環境基準値または管理目標値以下であった。

a. 「大気質調査」

調査結果は、いずれも環境基準値未満であった。

・PCB；230 pg/m<sup>3</sup>，ダイオキシン類；0.079 pg-TEQ/m<sup>3</sup>

測定期間中（11月17日～18日）の風向風速は、北西・北北西の微風が主に観測された。

b. 「排気調査」

調査結果は、全ての排気口において管理目標値未満であった。

4箇所の各排気口で、PCBとダイオキシン類を測定し、管理目標値に対して従来どおりかなり低い値で推移しているが、建屋換気排気口のダイオキシン類は従来よりやや高い数値が観測された。原因は不明だが、建屋換気排気口のサンプルは大気質のサンプルと比較するとボリュームが少ないこともあり、ちょっとしたほこり等が測定結果に影響を及ぼした可能性があると考えている。

c. 「臭気指数調査」

調査結果は、敷地境界、真空加熱設備集合排気口ともに、管理目標値を遵守していた。

（管理目標値10未満に対し、測定値は10未満であった。）

d. 「特定悪臭物質調査」（真空加熱設備集合排気口）

調査結果は、全22物質とも管理目標値未満であった。

（定量下限値も下回っていた。）

e. 「騒音調査」

測定地点5箇所とも、管理目標値未満であった。前回、地点②夜間の数値が高かったが今回は所内の運用変更を行ったこともあり管理目標値未満であった。

f. 「振動調査」

調査結果は、全ての時間区分で、管理目標値未満であった。

g. 「雨水排水枡（南側）再調査」

前回（5月）の雨水排水枡（南側）の調査結果が高かったため、時期を変えて再測定した。調査結果は、環境基準値未満であった。

前回の測定時に検出されたダイオキシン類は、当施設で処理している絶縁油に含まれるダイオキシン類とは異なることから、当施設に起因するものではなく、雨により流れ出た塵埃に付着した黄砂がダイオキシン類を含んでいた可能性が高いとの評価だったが、その後の経過観察のため再測定を行なった。

今回は測定の精度を上げるため、雨水排水枡の中の堆積物を除去し水洗いにより清掃を行った後にサンプルを採取し測定した。

○主な質疑応答

Q. 委員：坂町はモニタリング結果をどのように評価しているのか。

A. 坂町：大気質についてクロスチェックを行なった。中電測定値と坂町測定値は、ほぼ同じ内容で問題ないと考えている。

○アドバイザコメント：

a. 大気質調査結果について

・大気質ダイオキシンについては、発生源は当施設ではなく、他所からの影響が大きいと考えられるが全体的に下がってきているので特に問題はない。

- ・建屋換気排気口でのダイオキシン類の調査結果で数値がやや上がってきているので、推移を見守る必要がある。数値的には管理目標をかなり下回っており、外部への影響はないと思うが、影響が出るとすれば建屋内からだと考えられるので、測定のやり方など再確認してもらいたい。

b. 雨水排水枡（南側）での再調査結果について

- ・前回（5月）の調査結果は、塵・塵埃に付着し体積したものが測定されたことにより高い値が出たと考えられる。今回のようにサンプル採取前に雨水排水枡の清掃を行うことも対策の一つと考える。

(3) その他

○事務局報告

a. 津波を想定した各設備のリスク検討

想定外の津波が発生した場合に、当施設からPCB汚染物が流出するのを防止するという観点から、各設備状況の確認を実施した。

b. 津波訓練について

12月7日に、中国電力・中国電機製造・中電環境テクノス合同で訓練を実施した。（参加者30名）

12月17日（土）坂町地震・津波災害避難訓練参加予定。（参加者48名）

c. 6ヶ月点検について

平成24年1月5日～1月21日（延べ17日間）

d. トピックス：島根原子力発電所の地震津波対策について

島根原子力発電所で実施中の安全対策について紹介した。

○主な質疑応答

Q. 坂町では津波による防災対策をどのように考えているか

A. 12月17日（土）に津波対策訓練を実施する予定である。町内103社のうち28社が参加の予定である。

○アドバイザーコメント

- ・広島湾は、毎年沈下が確認されているので、満潮時の高潮等考えられるので防災計画等を準備しておく必要がある。
- ・当施設では、PCB付着物等が流出しないような対策を準備しておく必要がある。
- ・今回実施された津波訓練は、リスク等を踏まえた内容であり、反省会まで行われており大変いいことだと思う。今後も住民のみなさんに安心感を持ってもらうことが大事と考える。

以上